

授業科目名	経済学		担当教員	栗栖 千幸	科目ナンバリング LE123
選択	開講年次：1年前期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

ミクロ経済学とマクロ経済学の2つに分けて経済学を学ぶ。ミクロ経済学では、需要・供給と価格の関係、企業や個人の行動と価格形成について学ぶ。マクロ経済学においては、GDP(国内総生産)、消費、投資、政府支出などのマクロ経済変数、マクロ経済の動向を学ぶ。

【達成目標】

1. 世間の俗説に惑わされず、自己の目で経済現象を見つめる能力を身に付ける。
2. ミクロとマクロ経済学と医療制度の関係について学ぶ。
3. 医療システムをミクロ経済学の原理を応用して分析する。
4. 景気の動きを規定する基本的なメカニズムと財政金融政策の機能その他の経済問題について議論する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 経済学の目的とこの授業の意義
金は天下の回りもの - 経済とは何だろう？
- [02] お金はなぜお金なのか - 貨幣の誕生
- [03] 「見えざる手」が経済を動かす
- [04] 資本主義は失業者を生み出す
- [05] 公共事業で景気回復
- [06] 「お金の量」が問題だ
- [07] 医療と経済の関係
- [08] 経済学を知らずに医療ができるか？

【教科書】

池上彰(2013). 池上彰のやさしい経済学(1) しゅくみがわかる, 日経 BP.

【参考書】

康永秀生(2020). 経済学を知らずに医療ができるのか？ 医療従事者のための医療経済学入門, 金芳堂.

【評価方法・評価基準】

授業の中で出される「質問」への「回答」(50%)
授業課題レポート(50%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：日々の生活の中で、新聞やニュースなどに目を向け、現在の経済が人々の生活にどのように影響しているのかを感じ、その問題や課題について考えることに努める。(1時間)

事後学習：授業で学んだことを実生活の中で意識してみること。「経済を知らずに医療ができるのか」について自分でタイトルを考え、課題はレポートとして提出する(2000字)。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

授業内に求める意見や感想へのフィードバックは、その後の授業のなかで行う。

【備考】

特になし